

一期一会

一期一会（いちごいちは）：一生に一度の出会いや機会のこと

江戸川区立春江中学校

第1学年 学年通信

第21号 2025.12.19



12月12日（金）福祉体験



12月12日（金）に福祉体験を行いました。目の不自由な方、耳の不自由な方、身体の不自由な方をお呼びしてお話を聞き、実際に「手話体験」「車椅子体験」「白杖体験」を行いました。

目、耳、身体の不自由な方がとても大変な思いをしているのに、とても元気で前向きな考えをしていることがすごいと思ったと感想を記入している人がたくさんいました。

身体の不自由な方に手を貸すことはとても勇気のいる行動ですが、皆さんは勇気を出して手を貸せる人になって欲しいと思っています。



福祉体験を終えて 1年1組

私は今日の講話で自分の考え方がありました。前に何度か白杖を持った人に会ったことがあります。その時、目が見えないんだと思うだけで見て見ぬふりをしていました。

今回、自分自身が体験し、目の見えない人の気持ちが少しわかった気がします。もしあの時、声をかけていればその人は安心して頂けただろうなど今更気持がわからました。

声をかけるということは、すごく勇気が必要だけど、助けを必要としている人はその一言でとても安心、嬉しいということが分かったので、これからは自分から声をかけられるようにしていきたいです。



1学年 学級委員会から皆さんへ

先日の学年朝礼で、学級委員会を代表して1学年学級委員会 委員長の3組 [redacted]さんからお話をありました。

この話を聞いて、皆さんの普段の学校生活を振り返ってみるとどうでしたか？一人ひとりが自分ごととして考えて欲しいと思います。

1学年の皆さんへ 1学年 学級委員会 委員長 1年3組 [redacted]

少しお時間をください。昨日の専門委員会の話し合いであった出来事をこの場で話したいと思います。

各クラスこのような反省があがりました。うるさい、話を聞かない、3分前着席ができない、走り回っている、寝ている。ごく一部の人のこのような行いのせいで、学年全体がこの話に巻き込まれています。今だって話を聞いていない人がごくわずかいるでしょう。「だったら話をしなくてもいいじゃん」と思った人もいるかもしれません。

しかし、来月、都内巡りがあります。このような状況で都内巡りには行けないと想い、学級委員は話し合いました。自分は「そのごく一部の人」ではないと思うのなら真面目に過ごしてください。変われば分かると思います。

正直に言います。自分は周りに迷惑をかけている人ではないと思うのなら、きちんと過ごしてください。声掛けをしてください。まず、生徒会、生活委員、班長、この人たちが変わらないと周りの人は変わりません。何か言ったら嫌われてしまうと思っているかもしれません。でも学級委員はみんなの味方です。

そしてその「ごくわずかの一部の人」たち。あなたたちのせいで校則が厳しくなり、都内巡りのルールも厳しくなり、楽しい学校生活を送れません。そのような人たちに限り、「ルールをゆるくしたい～」とか言っています。あなたの行動でルールが決まります。その自覚を持って生活をしてください。これを言っても、話を聞かない、うるさい、3分前着席ができない、走り回る、授業中に寝ている人は、周りから迷惑がられていると思ってください。

最後に今月の目標は「都内巡りに向けて一人ひとりが声掛けができるようにしよう」です。今お話ししたことは学級委員代表として言わせてもらいましたが、学級委員みんなの思いです。1学年みんなが楽しい学校生活を送れるように意識して生活ていきましょう。

1学年の先生全員からのメッセージ

1学年学級委員長の発言から、「学年をよくしたい」「みんなで楽しい学校生活を送りたい」という強い思いが伝わってきました。勇気をもって自分の考えを伝えてくれたことに、心から感謝しています。

学校生活は、一人ひとりの行動で成り立っています。注意が必要な場面では声を掛け合い、同時に、良い行動をしている人の姿も認め合える学年であってほしいと思います。

都内巡りに向けて、自分の行動に責任を持ち、仲間と支え合いながら成長していきましょう。

私たち1学年の教員も、みなさん一人ひとりと一緒に、温かく全員が安心できる、前向きな素敵な学年をつくりていきたいと思います。

2学期もあと少し！頑張りましょう

